

**豚熱ワクチン一斉接種開始に係る
防疫対策連絡会議**

**開催日：令和3年4月2日（金）
午後3時30分から**

場 所：本庁舎第4応接室

**出 席：知事、危機管理局、生活環境部、
教育委員会、農林水産部**

1

会 議 内 容

- 1 国内発生状況
- 2 豚熱ワクチン接種の条件
- 3 鳥取県での豚熱ワクチン接種の対応
- 4 鳥取県ワクチン接種プログラムの概要
- 5 ワクチン接種スケジュール
- 6 お問い合わせ

2

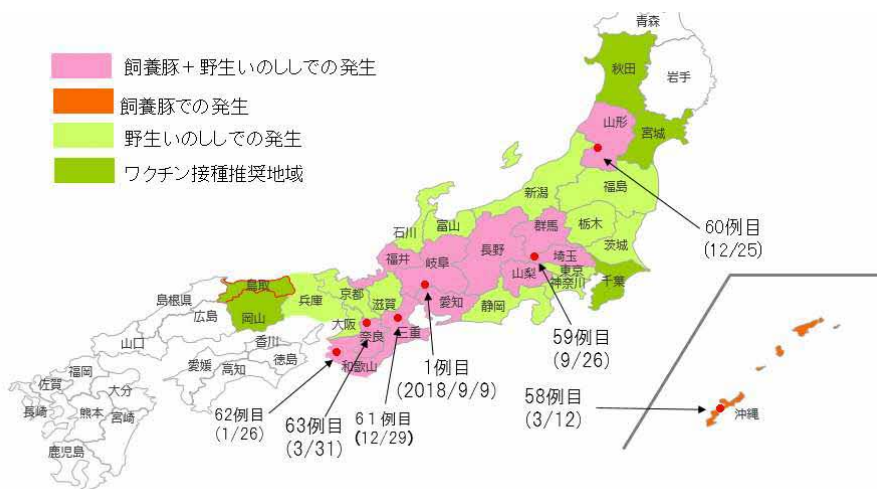
豚熱の国内発生状況

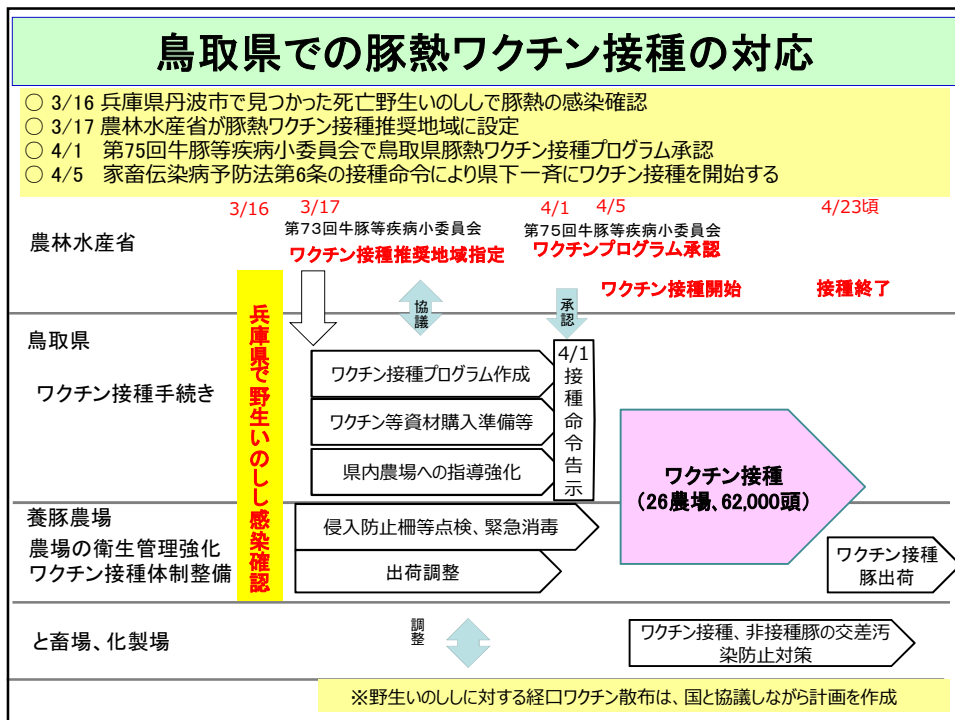
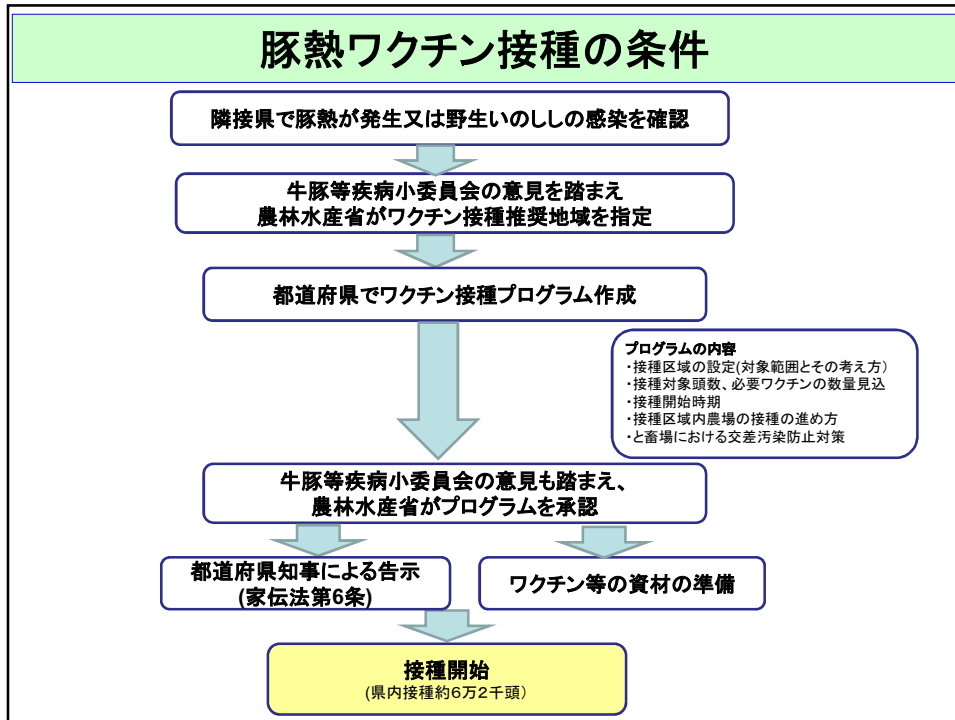
- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和2年9月26日にかけて岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、三重県、福井県及び大阪府内、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県で発生しており、昨年12月に山形県、三重県で発生。**3月31日奈良県の発生は国内63例目。**
- 2 野生いのししの感染は24都府県に拡大しており、西日本では令和3年3月16日に兵庫県丹波市の死亡いのしし2頭で初確認。

県名	陽性確認頭数	検査頭数	県名	陽性確認頭数	検査頭数
山形県	1頭	192頭	山梨県	69頭	354頭
福島県	17頭	229頭	長野県	263頭	1,114頭
茨城県	5頭	1,119頭	岐阜県	1,209頭	5,379頭
栃木県	9頭	667頭	静岡県	302頭	3,664頭
群馬県	111頭	2,140頭	愛知県	139頭	2,463頭
埼玉県	118頭	1,218頭	三重県	335頭	3,714頭
東京都	8頭	125頭	滋賀県	250頭	1,220頭
神奈川県	17頭	852頭	京都府	36頭	276頭
新潟県	35頭	397頭	大阪府	7頭	25頭
富山県	80頭	616頭	兵庫県	2頭	110頭
石川県	47頭	637頭	奈良県	24頭	299頭
福井県	119頭	1,278頭	和歌山県	44頭	389頭
			合計	3,247頭	28,447頭

3

豚熱が確認された都府県





鳥取県ワクチン接種プログラムの概要

- 1 接種対象地域 県内全域(野生いのしし侵入リスクが高い東部から接種)
- 2 接種開始時期 4月5日(月)
- 3 一斉接種終了予定 4月下旬(4月23日(金)を目途)
- 4 接種対象 豚飼養農場26戸 約62,000頭
〔 養豚19戸、いのしし1戸、
愛玩2戸、展示施設4 〕
- 5 ワクチン抗体保有状況確認
 - ・6か月に1回各農場の豚熱抗体検査実施
 - ・抗体保有が8割に満たない農場は、再度全頭追加接種
- 6 ワクチンの管理等
 - ・県が一括購入・保管・管理(ワクチン代は国が半額負担)
 - ・今回の一斉接種料金(初回分)は県が負担
 - ・一斉接種終了後は、接種料200円(ワクチン代含)/頭は農家負担
- 7 ワクチン接種豚の識別
接種豚にマーキングし、出荷と場で他県のワクチン未接種豚と交差しない対策を実施(出荷時間調整、出荷前後の消毒)

初回ワクチン接種スケジュール

4月5日(月)～4月23日(金)(野生いのしし侵入リスクが高い東部から接種開始)
約14日間、延べ67班体制、3人/班

1週目:東部～中部(8農場 10,000頭)

	月	火	水	木	金
班数/日	6班	6班	5班	2班	—
農場数/日	4農場	4農場	3農場	1農場	—

2週目:中部～西部(11農場 40,500頭)

	月	火	水	木	金
班数/日	11班	9班	6班	6班	1班
農場数/日	7農場	4農場	2農場	2農場	1農場

3週目:西部(7農場 11,500頭)

	月	火	水	木	金
班数/日	6班	5班	2班	1班	1班
農場数/日	4農場	3農場	1農場	1農場	1農場

8

ワクチン一斉接種後の対応

- 1 ワクチンの追加接種
一斉接種後は、定期的に母豚にワクチンを追加接種
生まれてきた子豚、他地域からの導入豚への接種
- 2 飼養衛生管理基準遵守
ワクチン接種で油断せず、野生動物の侵入防止柵の点検や対策、消毒の徹底によるウイルスの侵入防止対策を再度徹底
- 3 野生いのししへの豚熱経口ワクチンの散布
国、岡山県と散布地域を協議しながら計画を作成
- 4 野生いのしし対策の強化
今猟期に捕獲強化を実施(R2年11月～3月)
今年度から県境付近の野生いのししのモニタリングを強化
(検査頭数 R2年度 200頭→R3年度 300頭に増加)
- 5 ワクチン接種豚の安全性の啓発、販路確保
ワクチン接種豚に対する風評被害を防止、相談の受付

豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240 (夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341 (")
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140 (")

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286
	090-8061-9109 (休日、夜間)

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979 (夜間休日は守衛に転送)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3149 (")
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320 (夜間休日 0859-34-6211)

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。

11